

ヒグマワーキンググループの経過報告・今後の予定

1. 令和4年度ヒグマ WG の開催概要

- ・第1回会議 令和4年8月3日（水）羅臼町コミュニティセンター
※WG開催の前日、8月2日（火）午後に現地視察を実施

2. 主な議事内容

「第2期知床半島ヒグマ管理計画」の年次計画となる「令和4年度知床半島ヒグマ管理計画アクションプラン（案）」の内容を中心に議論した。主な意見・指摘事項は以下のとおり。

■2022（令和4）年度 知床半島ヒグマ管理計画アクションプラン（案）について

- ・第1期ヒグマ管理計画時のアクションプランに比べて一部方策の目標が下げられているが、人的資源の現状を踏まえて実行可能性のある目標設定になっていることは認識しつつも、必要性が高いものは目標を下げるのではなく達成するための具体的方策を検討すべき。
- ・目標とアクション、結果、評価といったリザルトチェーンと呼ばれる一連の流れに図化すれば、特に重視すべき点や現在不足している観点などが明瞭となり、地域への説明にも役立つ。

■第2期長期モニタリング計画について

- ・本WGで評価を担当しているモニタリング項目や評価基準等への特段の意見なし。

■DNAによる調査の継続について

- ・人為死亡個体及び出没個体の遺伝子試料のDNA解析に基づく個体識別は、ヒグマの適正管理に欠かせない情報であるため、毎年の継続的な実施が必要である。関係機関の協働を求める。
- ・昨年度までの広域DNA調査（環境研究総合推進費：2019～2021年）によって明らかとなった個体数推定値は、時間の経過とともに誤差が大きくなっていくため、次期管理計画の改定時期を念頭に継続的な実施が望まれる。

■その他

- ・適正利用・エコツアーリズム検討会議が中心となって進めているマイカー規制等のアクセスコントロールについて、ヒグマとの危険事例を減らすという観点から、実施時期や期間も含めた提案・進言をヒグマWGから発信してはどうか。

3. 令和4年度ヒグマ WG に関する今後の予定

◆第2回ヒグマ WG

令和4年12月頃に開催予定

以上